

アゼナ

ゴマノハグサ科

Lindernia procumbens (Krock.) Borbás

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 —	環境省 —
-------	--------------	----------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

一年草。湿生植物で水田雑草として知られる。草丈は10～20cm。茎は下部で分枝し、普通直立する。葉は対生し、卵状楕円形で柔らかく、全縁で鋸歯がなく、平行脈が3～5本ある。花期は7～10月で、葉脈から花柄を出し、淡紅紫色から白色の小唇形花をつける。

【分布の状況】

市内 市内では、水田地帯や河川付近で確認されている。

その他 北海道，本州，四国，九州，沖縄県に分布する。



撮影：市域内
写真提供：(全体) 狩野 裕章
(拡大) 石澤 進

【減少等の原因】

水湿地の減少，農地の改変

エチゴトラノオ

ゴマノハグサ科

Pseudolysimachium ovatum (Nakai) Yamazaki subsp. *maritimum* (Nakai) Yamazaki

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

減少，採取

【形態など】

多年草。草丈は30～80cm。葉は濃緑色で、長さは2～4cm，表面につやがあり、やや厚く低い鋸歯がまばらにある。花期は8～10月で、茎の先に穂状花序を出し、下部から順に紫色の花をつける。

【分布の状況】

市内 市内では、海岸で確認されている。

その他 本州中部地方以北の日本海側沿岸に分布する。

【減少等の原因】

採取，草地の減少，観光開発



撮影：市域外
写真提供：笹川 通博

【特記事項】

佐渡弥彦米山国定公園特別地域内指定植物

カワヂシャ

ゴマノハグサ科

Veronica undulata Wall.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 準絶滅危惧
-------	--------------	--------------	--------------

【選定理由】

減少

【形態など】

越年草，湿生植物。草丈は10～50cm。葉は披針形から長楕円状披針形で，長さは2.5～8cm，冬期はロゼット状になる。花期は5～6月で，葉腋から細長い花序を出し，白色から淡紫色の花を15～20個つける。

【分布の状況】

市内 市内では，河川付近で確認されている。

その他 本州（中部地方以北），四国，九州，沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少，河川の改変，農地の改変



撮影：市域内
写真提供：登坂 裕一

エゾオオバコ

オオバコ科

Plantago camtschatica Cham. ex Link

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。全体に白くてやわらかい毛が密に生える。葉は根元に集まり，長楕円形～広卵形。花茎はほとんど全部が斜上する。花期は5～8月で，先端に3～10cmの花穂をつけ，白い花を密につける。雄しべは花冠から長く突き出す。種子は1つの果実内に4個ある。

【分布の状況】

市内 市内では，海岸で確認されている。

その他 北海道，本州，九州に分布する。

【減少等の原因】

人の立入，一般開発



撮影：市域内
写真提供：刈屋 寿

トウオオバコ

オオバコ科

Plantago major L. var. *japonica* (Franch. et Savat.) Miyabe

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。花茎長は40～80cm。葉はすべて根生し、革質で広卵形、長さは8～25cm、先端がやや尖る。平行脈数条があり、鋸歯はまばらである。花期は7～8月で、葉の間から長い花茎を数本立て、多数の白い小さな花を穂状につける。種子は1つの果実内に10個以上ある。

【分布の状況】

市内 市内では、海岸で確認されている。

その他 本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

観光開発



撮影：市域内
写真提供：刈屋 寿

タカアザミ

キク科

Cirsium pendulum Fisch. ex DC.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

環境悪化、採取

【形態など】

越年草、湿生植物。草丈は100～200cm。茎葉は長楕円形～広卵形で、羽状に深裂する。根生葉は開花時には枯死する。花期は8～11月で、頭花は長い花柄の先にぶら下がって開く。花冠は紅紫色を呈する。

【分布の状況】

市内 市内では、河川、湖沼、用水路付近の湿地などで確認されている。

その他 北海道、本州（長野県以北）に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少、河川の改変、農地の改変



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

カセンソウ

キク科

Inula salicina L. var. *asiatica* Kitam.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

減少，採取

【形態など】

多年草，湿生植物。草丈は60～80cm。茎は細長く硬く，全体に短毛がある。葉は広披針形で，葉先は尖り，基部では茎を抱く。葉の下面は葉脈が隆起してはっきりしている。葉縁は細かい鋸歯がある。花期は7～9月で，茎の上部が分枝し，黄色の頭花をつける。

【分布の状況】

市内 市内では，海岸で確認されている。

その他 北海道，本州，四国，九州に分布する。

【減少等の原因】

採取，草地の減少，観光開発



撮影：市域内
写真提供：(全体) 刈屋 寿
(拡大) 笹川 通博

サワギク

キク科

Senecio nikoensis Miq.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。草丈は60～100cm。茎にはまばらに毛が生える。葉はまばらに互生し，薄く，羽状に深裂する。花期は6～7月で，枝先にやや散状に黄色い頭花を多数つける

【分布の状況】

市内 市内では，丘陵で確認されている。

その他 北海道，本州，四国，九州に分布する。

【減少等の原因】

森林の改変，一般開発



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

サワオグルマ

キク科

Senecio pierotii Miq.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 —	環境省 —
-------	--------------	----------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。草丈は50～80cm。茎は太くて柔らかく、白い綿毛がある。葉はやや厚く、長さは12～25cm、下部は柄があるが、上部は無柄である。根生葉はへら状披針形、茎葉は卵状披針形で基部は広く茎を抱く。花期は4～6月で、茎の先に散房状または仮散形状に黄色い頭花をつける。

【分布の状況】

市内 市内では、湖沼付近の湿地で確認されている。

その他 本州、四国、九州、沖縄県に分布する。



撮影：市域内 写真提供：笹川 通博

【減少等の原因】

水湿地の減少、河川の改変、農地の改変

【特記事項】

佐渡弥彦米山国定公園特別地域内指定植物

キバナノアマナ

ユリ科

Gagea lutea (L.) Ker Gawl.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

減少、採取

【形態など】

多年草。草丈は15～20cm。春に1葉1茎を出す。葉は広線形で花茎より長い。花期は4～5月で、花茎の頂きに、6弁の黄色い花を3～10個散形状につける。

【分布の状況】

市内 市内では、山地で確認されている。

その他 北海道、本州、四国に分布する。

【減少等の原因】

森林の改変

【特記事項】

佐渡弥彦米山国定公園特別地域内指定植物



撮影：市域内
写真提供：久原 泰雅

【選定種解説】
維管束植物

スカシユリ

ユリ科

Lilium maculatum Thunb.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

減少, 採取

【形態など】

多年草。草丈は30～60cm程度。地下に卵型の鱗茎がある。葉は茎に付く間隔が短く密生しており、厚くて光沢がある。花期は日本海側と太平洋側で異なり、日本海側では5～6月である。赤褐色の斑紋のある黄赤色の花をつける。花弁の間に隙間があり、名前の由来となっている。

【分布の状況】

市内 市内では、海岸近くの山地で確認されている。

その他 新潟県以北の日本海側と紀伊半島以北の太平洋側に分布する。



撮影：市域内 写真提供：石澤 進

【減少等の原因】

採取, 草地の減少, 一般開発

【特記事項】

佐渡弥彦米山国定公園特別地域内指定植物

オモト

ユリ科

Rohdea japonica (Thunb.) Roth

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

減少, 採取

【形態など】

多年草。草丈は20～50cm。葉は披針形で、厚く光沢がある。花期は5～7月で、長楕円形の穂状花序に花を密につける。

【分布の状況】

市内 市内では、海岸林や丘陵などで確認されている。

その他 東北地方南部以南に分布する。

【減少等の原因】

採取, 森林の改変



撮影：市域内
写真提供：久原 泰雅

ノハナショウブ

アヤメ科

Iris ensata Thunb. var. *spontanea* (Makino) Nakai

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 —	環境省 —
-------	--------------	----------	----------

【選定理由】

減少, 採取

【形態など】

多年草。草丈は60～120cm。茎は長い剣状で直立する。葉は長さ20～60cm, 中央には太い脈があって両側に突き出す。花期は6～7月で, 花茎の先に赤みを帯びた紫色の花を数個つける。花被片の中央には黄色部がある。

【分布の状況】

市内 市内では, 海岸で確認されている。

その他 北海道, 本州, 四国, 九州に分布する。

【減少等の原因】

採取, 草地の減少, 一般開発



撮影：市域内
写真提供：刘屋 寿

【特記事項】

佐渡弥彦米山国定公園特別地域内指定植物

ヒメザゼンソウ

サトイモ科

Symplocarpus nipponicus Makino

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 —	環境省 —
-------	--------------	----------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。短い根茎がある。葉は早春に出て束生し, 外部のものは膜質で葉身が退化し, 内部のものは柄と葉身がある。初夏には, ボート状で質が厚く, 暗紫褐色の仏炎苞を出す。花期は6月。花は両性で, 4個の花被片, 4個の雄ずい, 1個の雌ずいがある。

【分布の状況】

市内 市内では, 山地で確認されている。

その他 北海道, 本州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少, 農地の改変



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

【特記事項】

佐渡弥彦米山国定公園特別地域内指定植物

ミクリ

ミクリ科

Sparganium erectum L.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 準絶滅危惧
-------	--------------	--------------	--------------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草，抽水植物。草丈は50～100cm。葉は2列に互生して立ち，線形，先端は鈍頭である。裏面に稜があって断面が三角形になり，下部は葉鞘となる。花期は6～8月で，茎の上部の葉腋から枝を出し，各枝の下部に1～3個の雌性球花と上部に多数の雄性球花をつける。

【分布の状況】

市内 市内では，河川付近や水田地帯で確認されている。

その他 北海道，本州，四国，九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少，農地の改変，観光開発，農薬使用，水質汚濁



撮影：市域外
写真提供：青木 繁伸

ナガエミクリ

ミクリ科

Sparganium japonicum Rothert

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 準絶滅危惧
-------	--------------	--------------	--------------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。草丈は35～100cm。茎は立ち，分枝しない。葉は2列に互生し，線形である。抽水葉は裏面に稜があって断面は三角形になり，下部は葉鞘となる。花期は6～9月で，茎の上部に雄性の頭状花序をややまばらに5～10個つけ，その下に雌性の頭状花序を2～6個つける。

【分布の状況】

市内 市内では，用水路で確認されている。

その他 北海道（南西部），本州，四国，九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少，農地の改変，一般開発



撮影：市域外
写真提供：清水 尚之

ヤガミスゲ

カヤツリグサ科

Carex maackii Maxim.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。草丈は40～50cm。花序のつかない茎は長く伸び、夏期に倒伏する。葉鞘の腹面に横じわがない。茎の頂端に小穂が15～20個密につく穂状花序である。

【分布の状況】

市内 市内では、河川や湖沼の周辺で確認されている。

その他 北海道、本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少、河川の改変、農地の改変



撮影：市内
写真提供：刈屋 寿

ヒナガヤツリ

カヤツリグサ科

Cyperus flaccidus R. Br.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 —	環境省 —
-------	--------------	----------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

一年草。草丈は3～15cm。全体的に淡緑色で、鱗片の先端の芒は外側に開出する。茎先に苞葉が2～3個つく。花序先端に掌状の小穂を2～6個つける。

【分布の状況】

市内 市内では、水田地帯で確認されている。

その他 本州（関東地方以西）、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少



撮影：市内
写真提供：久原 泰雅

アオテンツキ

カヤツリグサ科

Fimbristylis dipsacea C. B. Clarke

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 —	環境省 —
-------	--------------	----------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

一年草。草丈は5～15cm。葉は茎の基部近くから出て、線状であり、長さは3～5cm。花期は8～10月で、花序は10数個の小穂からなる散形状である。小穂は淡緑色で、ほぼ球形である。

【分布の状況】

市内 市内では、湖沼付近の湿地で確認されている。

その他 本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少、農地の改変



撮影：市域内
写真提供：新潟市

ヒンジガヤツリ

カヤツリグサ科

Lipocarpa microcephala (R. Br.) Kunth

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 —	環境省 —
-------	--------------	----------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

一年草。草丈は5～20cm。稈は密に束生し、鈍三稜形で、基部に少数の葉がある。葉は1～2個の葉身があり、稈より短い。花序は1～3個の卵円形の穂が品字状に集まる。

【分布の状況】

市内 市内では、河川や湖沼付近の湿地で確認されている。

その他 本州、四国、九州、沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少、農地の改変



撮影：市域内
写真提供：新潟市

ツルアブラガヤ

カヤツリグサ科

Scirpus radicans Schk.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草，抽水植物。草丈は100cm程度。茎は鈍三稜形。葉は稈の基部に叢生し，稈はつる状に著しく伸びる。花期は5～7月で，茎頂に散房花序をつける。多数の小穂を密につけ，卵楕円形となる。刺針状花被片は非常に長く，強くちぢれている。

【分布の状況】

市内 市内では，河川付近の湿地などで確認されている。

その他 北海道，本州（中部地方以北）に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少，河川の改変，観光開発



撮影：市域内
写真提供：（全体）笹川 通博
（右下）石澤 進

ギンラン

ラン科

Cephalanthera erecta (Thunb.) Blume

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 —	環境省 —
-------	--------------	----------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。草丈は10～30cm。葉身は細長い楕円形で，長さは3～8cm，5～6枚が互生し，基部は茎を抱く。花期は5～6月で，茎の上部に白い花を3～5個つけるが，あまり開かない。唇弁の基部は短い距となる。

【分布の状況】

市内 市内では，山地で確認されている。

その他 本州，四国，九州，沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

森林の改変，一般開発

【特記事項】

佐渡弥彦米山国定公園特別地域内指定植物



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

カキラン

ラン科

Epipactis thunbergii A. Gray

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 —	環境省 —
-------	--------------	----------	----------

【選定理由】

減少, 採取

【形態など】

多年草。草丈は30~70cm。根茎が横に這い、節から根を下ろす。葉は狭卵形で、長さは7~12cm、著しい縦脈があり、基部は鞘となって茎を抱く。花期は6~7月で、茎の上部に黄褐色の花を多数つける。

【分布の状況】

市内 市内では、海岸近くの水湿地で確認されている。

その他 北海道、本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

採取, 草地の減少

【特記事項】

佐渡弥彦米山国定公園特別地域内指定植物



撮影：市内
写真提供：刈屋 寿

コバノヒノキシダ

チャセンシダ科

Asplenium sarelii Hook.

カテゴリー	新潟市 地域個体群	新潟県 地域個体群	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

希少, 分布限界

【形態など】

岩上や石垣上に生える常緑性シダ。葉柄は淡緑色、下部では黒褐色となり、基部に披針形、格子状の黒褐色の鱗片がつく。葉身は2~3回羽状複生し、広披針形から長楕円形で、光沢のない鮮緑色~白緑色の柔らかい紙質である。孢子嚢群は裂片に1~3個互いに接近してつく。

【分布の状況】

市内 市内では、丘陵で確認されている。

その他 本州（東北地方南部以西）、四国、九州に分布する。



撮影：市内 写真提供：石澤 進

【減少等の原因】

一般開発

【特記事項】

1個体（単体）の確認が1ヶ所である。

ヌリワラビ

イワデンドロ科

Diplazium mesosorum (Makino) Koidz.

カテゴリー	新潟市 地域個体群	新潟県 —	環境省 —
-------	--------------	----------	----------

【選定理由】

分布限界

【形態など】

夏緑性シダ。根茎が長く這い、葉は混み合っつく。葉柄は赤褐色～黄褐色で漆を塗ったような光沢がある。基部鱗片は披針形～広披針形、褐色。葉身は2～3回羽状複生、やや光沢のある鮮緑色～濃緑色で草質。孢子嚢群は長楕円形で中肋に接して斜上してつく。



撮影：市域内
写真提供：登坂 裕一

【分布の状況】

市内 市内では、山地で確認されている。

その他 北海道、本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

一般開発

ジャヤナギ

ヤナギ科

Salix eriocarpa Franch. et Savat.

カテゴリー	新潟市 地域個体群	新潟県 地域個体群	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

希少

【形態など】

落葉高木。樹高は5～20m。樹皮は灰褐色で縦に深い割れ目が入る。葉は単葉で互生。葉身は長楕円状披針形で、長さ10～15cm、幅1～2.5cm。葉の色は表が緑色、裏が粉白色である。葉縁は細かい鋸歯で、葉先は長い鋭尖頭である。葉の展開と同時に開花する。雌雄異株。



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

【分布の状況】

市内 市内では、山地や湖沼付近で確認されている。

その他 本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少、一般開発



スタジイ

ブナ科

Castanopsis sieboldii (Makino) Hatus.

カテゴリー	新潟市 地域個体群	新潟県 地域個体群	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

分布限界（新潟県）

【形態など】

常緑高木。樹高は25～30m。葉は広楕円形で、長さは5～15cm、上半分に鋸歯がある。上面は濃緑色で、下面は淡褐色である。雌雄同株の穂状花序で、黄緑色の花をつける。

【分布の状況】

市内 市内では、山地などで確認されている。

その他 本州（福島県または新潟県以南）、四国、九州、沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

森林の改変



撮影：市域外
写真提供：笹川 通博

アカガシ

ブナ科

Quercus acuta Thunb. ex Murray

カテゴリー	新潟市 地域個体群	新潟県 地域個体群	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

分布限界（新潟県）

【形態など】

常緑高木。樹高は20m程度。葉は単葉で互生し、長さは5～12cm、葉身は長楕円状倒披針形である。葉色は表が深緑色、裏が淡緑色となる。樹皮は小木では灰緑色で平滑だが、老木では帯黄暗赤色で、外皮が鱗片状にはげる。雌雄同株。雄花序は新枝から垂れ下がる格好で、黄褐色の花をつける。雌花序は上部の葉腋に直立し5個程度の花をつける。

【分布の状況】

市内 市内では、丘陵で確認されている。

その他 本州（宮城県または新潟県以西）、四国、九州に分布する。



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

【減少等の原因】

森林の改変，農地の改変

ウラジロガシ

ブナ科

Quercus salicina Bl.

カテゴリー	新潟市 地域個体群	新潟県 地域個体群	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

分布限界（新潟県）

【形態など】

常緑高木。樹高は20m。葉は披針形または長楕円披針形で、長さは9～15cm、縁に鋸歯がある。上面は濃緑色で、下面は灰緑色である。成葉になると淡褐色の軟毛がなくなり光沢が出る。雌雄同株の穂状花序で黄緑色の花をつける。

【分布の状況】

市内 市内では、丘陵や集落付近で確認されている。

その他 本州（宮城県または新潟県以西）、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

森林の改変



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

クサアジサイ

ユキノシタ科

Cardiandra alternifolia (Sieb.) Sieb. et Zucc.

カテゴリー	新潟市 地域個体群	新潟県 地域個体群	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

分布限界（新潟県）

【形態など】

多年草。草丈は25～90cm。根茎から毎年数本の茎を出す。葉は互生し、葉身は広披針形で、葉先は尾状の鋭尖頭である。花期は7～9月で、茎の先に散房花序を出し、淡紅紫や白色の花を多数つける。

【分布の状況】

市内 市内では、山地で確認されている。

その他 本州（宮城県以南）、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

森林の改変



撮影：市域内
写真提供：刈屋 寿

フユイチゴ

バラ科

Rubus buergeri Miq.

カテゴリー	新潟市 地域個体群	新潟県 地域個体群	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

分布限界（新潟県）

【形態など】

常緑低木。葉は単葉で互生し、葉身は円形で、先は円頭、浅く3～5裂する。葉縁は細かい鋸歯があり、裏面の葉脈に毛が多い。花期は9～10月で、枝先や葉腋に5弁の白い花が数個集まってつく。

【分布の状況】

市内 市内では、山地や丘陵で確認されている。

その他 本州（関東地方以南、新潟県以西）、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

森林の改変



撮影：市内
写真提供：刈屋 寿

【特記事項】

別名：カンイチゴ（寒莓）

ミヤマフユイチゴ

バラ科

Rubus hakonensis Franch. et Savat.

カテゴリー	新潟市 地域個体群	新潟県 地域個体群	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

分布限界（新潟県）

【形態など】

常緑低木。茎はつる状に地を這い、茎や葉柄に刺がある。葉は卵形で、先は尖り、浅く3～5裂し、細かい歯牙状の鋸歯がある。両面ともに毛は少ない。花期は9～10月で、葉腋に円錐花序を出し、5弁の白い花を数個つける。

【分布の状況】

市内 今回の市内現地調査では確認されていないが、過去に新津地区で確認記録がある。

その他 本州（関東地方以西）、四国、九州に分布する。



撮影：市内
写真提供：石澤 進

【減少等の原因】

森林の改変

カラコギカエデ

カエデ科

Acer ginnala Maxim. var. *aidzuense* (Franch.) Ogata

カテゴリー	新潟市 地域個体群	新潟県 —	環境省 —
-------	--------------	----------	----------

【選定理由】

局限・孤立

【形態など】

落葉小高木。樹高は2～8m。樹皮は灰褐色で、縦に不規則に割れ、鱗片状に剥がれる。葉は単葉で対生し、葉身は卵状楕円形である。葉色は表面が濃緑色、裏面が淡緑色。葉縁は3浅裂または重鋸歯。花期は5～6月で、葉の展開後に枝先に円錐花序を出し、淡黄緑色の花をつける。雌雄同株で一つの花序に雄花と雌花が混在する。

【分布の状況】

市内 市内では、丘陵で確認されている。

その他 本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

森林の改変、一般開発



撮影：市域外
写真提供：石澤 進

モチノキ

モチノキ科

Ilex integra Thunb.

カテゴリー	新潟市 地域個体群	新潟県 地域個体群	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

分布限界（新潟県）

【形態など】

常緑高木。雌雄異株。樹高は25m。葉は単葉で互生し、倒卵状楕円形で、長さは5～10cm。葉の表面は緑色で、裏面が黄白緑色であり、葉縁は全縁で大きな波状となる。花期は4～5月で、黄緑色の小さな単性花を葉腋につける。

【分布の状況】

市内 市内では、海岸林内、海岸近くの山地、丘陵などで確認されている。

その他 本州（東北地方南部以西）、四国、九州、南西諸島に分布する。

【減少等の原因】

森林の改変



撮影：市域外
写真提供：石澤 進

ツボクサ

セリ科

Centella asiatica (L.) Urban

カテゴリー	新潟市 地域個体群	新潟県 地域個体群	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

希少，分布限界（新潟県）

【形態など】

多年草。茎は地を這い，節から根や葉が出る。葉は腎円形で，長さは2～5cm，色は浅緑色で，葉縁には浅い鋸歯がある。花期は5～8月で，節から1～2個の花序を出し，5弁で紫色の花が2～5個集まってつく。

【分布の状況】

市内 市内では，海岸近くの岩場で確認されている。

その他 本州（関東地方以西），四国，九州，沖縄県，小笠原に分布する。

【減少等の原因】

観光開発



撮影：市内
写真提供：刈屋 寿

【特記事項】

新潟市文化財保護条例指定

キクムグラ

アカネ科

Galium kikumugura Ohwi

カテゴリー	新潟市 地域個体群	新潟県 地域個体群	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

希少

【形態など】

多年草。草丈は30～50cm。茎はやわらかく，斜上する。葉は4～5枚輪生し，楕円形～狭倒卵形で，長さは100～150cm，辺縁に上向きの短毛がある。花期は5～6月で，葉腋や茎先から花序を出し，白い花を数個つける。

【分布の状況】

市内 今回の市内現地調査では確認されていないが，過去に新潟地区，巻地区で確認記録がある。

その他 北海道，本州，四国，九州に分布する。



撮影：市域外
写真提供：石澤 進

【減少等の原因】

草地の減少

マルバノホロシ

ナス科

Solanum maximowiczii Koidz.

カテゴリー	新潟市 地域個体群	新潟県 地域個体群	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

希少

【形態など】

多年草。茎はつる状に長く伸びる。葉は披針状長楕円形で、長さは5～13cm、無毛である。花期は8～9月で、茎の途中または葉の反対側に集散花序を出し、5深裂で淡紫色の花をまばらにつける。花冠の裂片は5～6mm開くと後方に反り返る。

【分布の状況】

市内 市内では、水田地帯で確認されている。

その他 本州（関東地方以西）、四国、九州、沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

一般開発



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

ヒメノヤガラ

ラン科

Chamaegastrodia sikokiana Makino et F. Maek.

カテゴリー	新潟市 地域個体群	新潟県 地域個体群	環境省 絶滅危惧Ⅱ類
-------	--------------	--------------	---------------

【選定理由】

希少

【形態など】

多年草、腐生植物。草丈は10～20cm。葉緑体を持たず、腐物から栄養を取る。茎はやや肉質で淡紅色、毛は無く、鱗片葉を互生する。花期は7～8月で、茎上部に穂状花序を出し、5～10個の黄褐色の花をつける。

【分布の状況】

市内 今回の市内現地調査では確認されていない。

その他 本州（岩手県以南）、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

森林の改変



撮影：市域外
写真提供：宮本 亮

【選定種解説】
維管束植物

参考文献（維管束植物）

新潟県，1983. 新潟県のすぐれた自然 植物編. 新潟県生活環境部自然保護課.

岩室村生涯学習推進本部，1990. 多宝山脈の山野草.

山本敏夫，1987. 新潟県樹木図鑑. 新潟日報事業社.

石沢 進（編），1998. 里山の植物. 財団法人新潟県都市緑化センター・新津市

環境省，2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物. 財団法人自然環境研究センター

新潟県，2001. レッドデータブックにいがた. 新潟県環境生活部環境企画課.